

第54回
全国国立大学附属学校連盟
高等学校部会
教育研究大会要項

2012(平成24)年
10月19日(金)・20日(土)

主 催 全国国立大学附属学校連盟高等学校部会
日本教育大学協会高等学校部門
会 場 名古屋大学教育学部附属中・高等学校

Intelligent Café の運営とコーディネーション能力の育成

～ SSH の取り組みと新しい学びの形の創出 ～

東京学芸大学附属高等学校 宮城政昭 齋藤洋輔 池尻良平

1. はじめに

本校は、平成 24 年度より文部科学省指定スーパーサイエンスハイスクールに採択され、その事業の一つとして Intelligent Café（以下 In-café）を運営している。この活動は当初、生徒の柔軟な発想を育成すること、知的な議論が自由に行える空間を創出すること、生徒たちの既成概念を破壊できる実験的な活動が行えることを目標としていた。しかし生徒たちと共に運営を進めていく中で、In-café は生徒にとって新たな学びの場、つまり総合的なコミュニケーション能力としての“コーディネーション能力”の育成の場として機能を担っていることを意識し始めた。

2. Intelligent Café の特徴と育成できる能力

本校 In-café における教育活動の最大の特徴は、運営のほぼ全てを生徒に委ねている点である。現在までに、運営スタッフの生徒たちが中心となり、In-café のコンセプトを決定し、運営体制を整えた。そして①In-café をどのような場所・環境としてデザインしていくか、②In-café にてどのような企画を運営していくかの 2 点のテーマに絞り、すべての生徒が intelligent な体験ができるための環境づくりや企画づくりを目指している。

In-café が育成しうる“コーディネーション能力”として、具体的には以下の 5 つの能力を定義した。①現状把握力：企画や環境整備について広い視野から考えることができ、実現のためには何が問題なのかを分析できる能力。②先見性：どのような企画や環境が皆の望むものなのか、また皆に有用なものなのかを見出す感覚。③実行力・計画性：企画や環境整備の実現に向けて、計画的かつ忍耐強く実行に移す能力。④解決的コミュニケーション力：企画や環境がより良いものになるよう議論し、様々な制限の中で最良の選択に向けて意見をまとめる能力。⑤ボーダレスな感覚：年齢や国籍、障害などの多くのボーダーを軽く飛び越えていける柔軟な感性。

3. Intelligent Café の今後の可能性

今後求められる人材には、SSH の理念にもある通り、新たな価値観を生み出す創造性と、複雑化した社会に対応しうるだけの人間性や柔軟性、コミュニケーション能力が必要とされる。そこで In-café がコーディネーション能力の育成の場であると共に、生徒たちの既存の概念を打ち破る実験室の場として発展していくことを願っている。またそのような場が学校教育活動の中から生まれるかという実験の場でもあり、今後実り多い活動の発信が出来ればと考えている。